

しよう。幼児ならびに保護者の方々と親しみが出来てこそ、周到につくられた保育案の實際の活用が充分に出来るということになりましょう。

人なれの早い幼児は別として、今まで家庭内の人たちとのみ遊んでいて、あまり外の友達と遊ぶ機會の少かつた人たちは一般になれにくいものであります。幼稚園の先生方は、幼児と親しくなるためにいろいろの方法を考えられる事でありましょうが、その幼児の名前を早く覚えるという事も一つの方法でありましょう。又幼児の家庭票などによつて先生が幼児の家族の様子などを、略承知して、兄弟の様子など話し合うことなども幼児との親しみを早くすることでありましょう。

とにかく幼稚園は家庭の延長という事を、實際の氣持にも出して、幼児にも、保護者にも、幼稚園、先生というものに安心してもらい、依頼してもらおうという事がすべての保育の仕事が圓滑に進められる事でありましょう。尙幼稚園と家庭の方々の親睦とをはかり、幼児を中心としての隔意なき保育の意見の交換なども、お互にその長短を補つたりのばしたりする事にもなるのでありましょう。

新しい入園幼児を迎え、又年長組に進んだ幼児の數多な春の幼稚園は希望に満ちて、自然の強い力と一緒に賑かに進みたいものであります。

保育者として近頃

おもひこと

東京都民生局保育班

増子とし

保育と家庭

最近米國から來朝した舊知のある宣教師夫人に私は彼地の保育現狀について尋ねたのですが、保育事業の上には戰時中にも、別段の變化が見られなかつたとの事でした。云い換えまずと戰争の影響が彼地の幼児には見られなかつたのです。多くの幼児は殆ど戰争を知らず戰争の圏外に生活して來たのです。たゞ少し變つたところと云えば、幼児の母親が數人づつ毎日保姆の指導の下に保姆と一緒に我が兒たちの保育に専念しているのが以前には見受けなかつたところであるとの事です。

幼稚園や保育所が家庭の幼児教育の補助と考えられて來た從來の見解に對して之は、家庭と保育所が何れが主、何れが従と云うのではなく、協同の責任に於て幼児の保育に専念しているのです。家庭とか保護者會は、保育所に保育を委任するのではなく、常に協同の仕事として之を取り上げてゐるわけです。云い換えれば何れも責任ある保育者としての立場に立つ事になるのです。彼地の事情が私共のそれに直ちに一致

するとは考えられませんが、「家庭、幼稚園」「保姆、母親」と云うような概念をもう一度考え直して今後の保育事業の推進上参考に致してよいことと思ひます。

保育者の服装と言動

保育者の容姿——清楚な結髪、清潔な指先、明るい色彩と模様の服装——之に對して灰色の色彩、不潔な服装、陰氣な顔——この中で美しい心情の幼児は培われません。派手な服装をつくるといふのはありません。園児に接する間だけでも、美しい模様、明るい暖かな色彩を持ち、軽快な動作に適する服装に着替えられたらいかゞなものでせう。

服装にもまして反省すべきはその言動です。胸にさゝるような甲高い制止の聲、射すくめるようなすどいまなざし、荒々しい所作——幼児を窒息させて仕舞います。いつも笑みを湛えたまなざし、暖かい澄んだ聲、優しい動作——幼児にとつては、天使のようにならうとする事でしょう。心がけ一つで誰れでもが到達し得る所です。

室内の環境

保育室の天井、窓、壁、床、何れも保育者の服装と同じ効果を幼児に與えるものです。室内の清潔、整頓、飾りつけ——幼児の清潔を好む心、美を愛する心は、保育者の言葉を通じてではなく、その住む環境から得るものでしょう。

保育資料の貧困

幼児が卑俗な歌を口の端にのせ、いかゞわしいあそびに熱中するのを、社會の罪と放任すべきでしょうか、私達は私達の責任と感ぜないわけにまいりません。

美しいメロデー、軽やかなテンポ、明るく楽しい平易な歌と、公正と社會性に富む身心を打ち込んで遊べる愉快な遊びは、私達以外には斷じて彼等に與え得ない事を自覺し、責任を感じべきです。

問題の所在

最後に問題はいつも、幼児ではなく、母親ではなく、教師に在るのです。「問題の教師」——保育事業の成功と不成功の鍵は常に此處にあるようです。保育に携わる私達は絶えず自戒し精進に勉めましょう。

× × ×